

ラン科植物の交雑と播種状況(続き)

受粉親	花粉親	交配日	採種日	播種日	発芽日	結果
<i>Cymbidium eburneum</i>	<i>Cym. eburneum</i>	—	—	*85. 1. 15	*85. 3	1+
<i>Paphiopedilum Sheerline 'Rondo'</i>	<i>Paph. armeniacum</i>	—	*85. 1. 18	*85. 1. 28	*85. 6	+
<i>Paphiopedilum insigne</i>	<i>Paph. armeniacum</i>	—	*85. 1. 18	*85. 1. 28	*85. 6	+
<i>Spathoglottis sp. (New Guinea)</i>	<i>Spatho. sp. (New Guinea)</i>	—	—	*85. 2. 4	*85. 3	+++

当園作出のイワタバコ科新品種

世羅徹哉・中山長秀*

イワタバコ科の交配は、これまでに、*Columnnea*, *Chirita*, *Achimenes*, *Smithiantha*, *Eucodonia* などの属内、及び属間で行ってきたが、それらの中で *Smithiantha* × *Achimenes* および *Achimenes* × *Eucodonia* の属間交配によって観賞価値の高い新品種を得たので記録する。

1. *Smithiantha Little One* ×

Achimenes Pulcherrima

交配日 1982年9月

播種日 1983年1月8日

本交配種は、アキメネスと同様に低温、乾燥下で休眠する多年性草本で、形態の特徴は以下のとおりであった。

茎は、高さ約25cm、基部の直径0.4~0.6cm、全体に長さ0.1~0.2cmの赤色または白色長毛を下向きに密生する。節間は、下部で4cm、上部で1.5~2.0cm。葉は全縁で粗い鈍鋸歯があり長卵形。先端は鋭形。長さ13.0~15.5cm、幅7.2~8.5cm、葉柄部の長さ3.5cm。葉柄および葉身表面には、長さ0.1~0.2cmの白色長毛を密生するとともに長さ0.2~0.3cmの赤色長毛を粗生する。葉身裏面には、長さ0.1cmの白色毛を密生する。表面の葉色は、濃黄緑色(日本園芸植物標準色票No.3507)で、葉脈にそって暗赤褐色(Na.1009)の斑がある。裏面は、穏黄緑色(Na.3513)に穏紅色(Na.0115)の斑が表面

と同様に分布する。花は葉腋に単生し、先端が5裂する鐘形花。小花梗は白色毛を密生し、長さ2.5cm(花時)~3.5cm(花後)。がく片は5~6裂し、裂片の大きさは、長さ0.4~0.5cm、幅0.2~0.3cmで有毛。背軸側の2裂片が他よりもやや大きい。花卉の大きさは、長さ3.8cm、先端部の直径3.5cm。裂片の縁は僅かに波打ち、浅く粗い切れ込みがある。花色の分布は裂片部の表面が斑紋状、裏面が単色、筒状部の内側がぼかしおよび斑点、外側がぼかしで、花色は次に記すとおりであった。



図1 *Smithiantha Little One* × *Achimenes Pulcherrima*

* 現所属広島市園芸指導所安佐分場

裂片部

- | | | |
|----|------------------|--------------------|
| 表面 | 地色 | 濃色部…濃赤紫色 (Na9209) |
| | | 淡色部…鮮赤味紫色 (Na8906) |
| | 複色部…黄白色 (Na1901) | |
| 裏面 | 濃赤味紫色 (Na8908) | |

筒状部

- | | |
|----|--|
| 内面 | 地色…黄白色 (Na1901) |
| | 複色部 { ぼかし…浅橙黄色 (Na2203)
斑点…鮮赤味紫色 (Na8906) |
| 外面 | 地色…鮮赤味紫色 (Na8906) |
| | 複色部…淡橙黄色 (Na2202) |

雄蕊は4個で、向軸側の2個は他よりも短い。花柱は有毛で長さ約3cm、柱頭は口唇形。花期は7月～10月で、アキメネス属の園芸品種とほぼ同様だが、より遅くまで咲き続ける傾向があった。

現在花を観察しているのは2個体であるが、これらは、葉色および花色の濃淡に僅かな差が認められる程度であった。

「The Miracle Houseplants」(Virginie, F. & George A. Elbert 共著)によれば、Smithiantha 属を用いた属間交配では、園芸的価値のある品種は得られていないことが記されているが、当園で交配して得た品種は、以上のような形態的特徴の他に、夏期、アキメネスよりも栽培し易いなどの点で園芸的にも価値の高いものと認められる。

2. *Achimenes Harveyi* ×

Eucodonia verticillata

交配日 1982年10月3日

播種日 1983年1月8日

本交配種の特徴は、以下のとおりであった。茎は軟弱で、横に這うか下垂し、長さ15～25cm。最大葉の大きさは、長さ8cm、幅4cm、葉柄部の長さ2.5cm。卵形で、先端は鋭形。全縁で、粗い鈍鋸歯があり、両面ともに有毛。表面は赤味を帯びた暗緑色、裏面は淡緑色地に、葉脈に沿って紫紅色の帯色がある。花は葉腋に単生し、小花梗は長さ約2.5cmで有毛。かくは5～7裂し、裂片の長さ0.4cm。花冠は、先端が5裂する高つき形花冠で、長さ約2cm、先端部の直径約3cm。喉部にくびれがある。また個体によ

ては、5裂の内の下側3裂片の縁に浅く粗い切れ込みがある。花色の分布は、先端の下側3裂片の内側が斑点、喉部がぼかしおよび斑点で、他は単色であった。花色は次に記すとおりであった。



図2 *Achimenes Harveyi* ×
Eucodonia verticillata

裂片部

- | | | |
|----|--|------------------|
| 表面 | 下側3裂片 | 地色…鮮赤赤色 (Na9707) |
| | | 複色部…Na9707より濃色 |
| | 上側2裂片…Na9707より濃色 (HUE 7RP 07, V(5), C10) | |

裏面…縹紫ピンク色 (Na9511)

筒状部

- | | |
|------------|--|
| 内面
(喉部) | 地色…濃紫ピンク色 (Na9213) |
| | 複色部 { ぼかし…明橙黄色 (Na2204)
斑点…Na9707より濃色 |
| 外面 | 縹紫ピンク色 (Na9511) |

雄蕊は4個で、このうち背軸側の2個の葯は互いに合着する。花柱は長さ1.5cmで粗毛がある。柱頭は口唇形。

花期は9月～12月で、アキメネスより遅い。栽培はアキメネスと同様で良いが、夏期の高温はできるだけ避けるようにする。

以上のように本交配種は、秋から冬にかけての温室鉢物として有用である。